

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11)特許出願公表番号 特表2003-502981 (P2003-502981A)

(43)公表日 平成15年1月21日(2003.1.21)

(51) Int Cl. 7		識別記号	F I	Ť	~V]-* (参考)
H04L	12/40		H 0 4 L 12/40	M	5B083
G06F		301	G 0 6 F 13/00	301A	5K032

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 32 頁)

	特額2001-505254(P2001-505254) 平成12年6月16日(2000.6.16) 平成13年12月17日(2001.12.17) PCT/DE00/01901 WO00/079352 平成12年12月28日(2000.12.28) 199 27 635.8 平成11年6月17日(1999.6.17) ドイツ(DE) EP(AT, BE, CH, CY, FI, FR, GB, GR, IE, IL, PT, SE), JP, US		ドイツ国. デーー53721 ジーグブルグ, アウフ デン ゲロルテン 16 弁理士 岡部 正夫 (外10名)
--	---	--	---

(54) 【発明の名称】 安全関連オートメーション・パス・システム

(57) 【要約】

本発明は、セキュリティ関連オートメーション・システムと、前記システムを操作するための方法に関する。最小量のハードウェア冗長性を必要とし、フレキシブルに要件に適合可能なセキュリティ関連バス・オートメーション・システムを生成するために、このオートメーション・システムは、インタフェースによりバスに接続され、前記バスを介してデータ・フローを監視する少なくとも1つのセキュリティ労析器を含み、それにより、分析器はセキュリティ関連機能を実行できるように構成されている。このオートメーション・システムは、標準制御装置が少なくとも1つのセキュリティ関連出力を制御することを特徴とし、セキュリティ分析器は、バス・データ・フロー内のセキュリティ関連データを監視および/または処理できるように構成されている。

